

福岡県の主要な労働施策と課題について

〔就業支援課〕

○論点となるテーマ

生涯現役を見据えたキャリアプラン形成の重要性に関する中高年齢者の理解促進について

○現状

本県では、誰もが年齢に関わりなく、それぞれの意思と能力に応じて働いたり、NPO・ボランティア活動に参加し、活躍し続けることができる選択肢の多い「生涯現役社会」を目指している。

その取組の一環として設置した生涯現役チャレンジセンターでは、定年以降も働きたい方が継続して活躍できるよう、「50歳代の在職者のためのキャリアプラン相談窓口」を令和4年度に設置し、役職定年による減給及び今後のモチベーションの維持に関し不安のある50代在職者を対象として、定年後スムーズに次のキャリアへ移行するための相談支援のほか、企業向けに「従業員向けキャリアデザインセミナー」を実施中（別添P1、2）。

利用者アンケートでは、9割が「キャリアプラン相談は有益だった」と回答しており、各利用者からは、「5年後、10年後にやるべき事が明確になり目標が出来た」「老後に必要な資格を調べて取得しておく」などの声があるところ（別添P2）。

○課題

国の調査によると、定年後（66歳以降）も働きたい人の割合は増加傾向である一方、年代が上がるにつれ、自己啓発を行った者の割合は下がる傾向にあり、特に40歳代以降で顕著。（別添P3）。

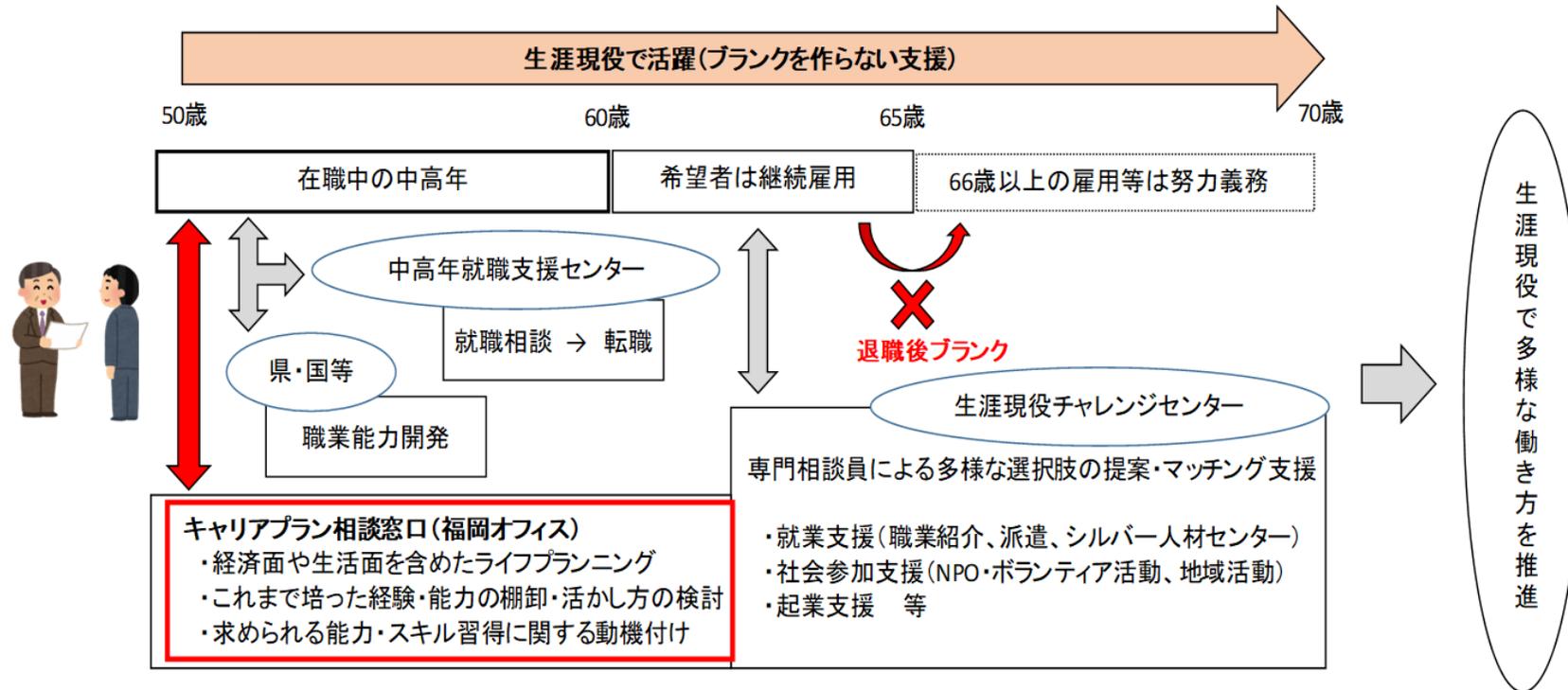
加えて、企業担当者からは「資格取得後、実務経験を積む等の時間をとるためには、40歳代からキャリアを考える必要がある」との声が出ており、また、キャリアデザインセミナーの活用は自社職員のキャリア形成の重要性を認識している企業に限定されることから、これまでの50歳代に加え、今後は40歳代の在職者への拡大が必要である。

○議論いただきたいこと

40歳以上の中高年齢者が生涯現役を見据えて活躍できるよう能力開発を促すため、中高年のキャリアプラン形成の重要性に関する理解を深めるには、どのような支援が効果的か。

1 キャリアプラン相談窓口の概要

- ・ 中高年の方が定年後も継続して活躍できるよう、令和4年度に福岡県生涯現役チャレンジセンター内にキャリアプラン相談窓口を設置
- ・ 在職中から今後のキャリアを考える機会を提供するとともに、職業能力の開発を促すことで、スムーズに次のキャリアへの移行を図り、生涯現役社会づくりを推進



2 事業に関する実績及びアンケート結果

- ・窓口実績のうち、個別相談は微減傾向にあるものの、企業向けに行うセミナーの参加者は増加傾向
- ・アンケート結果より、本事業を利用した方からは、9割以上が「有益だった」と回答

① 相談窓口の実績

(人) 従業員向けキャリアデザインセミナーの概要

		R4年度	R5年度	R6年度	
				9月時点	年間見込 (※)
個別相談	窓口	134	100	51	102
	企業派遣	62	74	19	38
従業員向けキャリアデザインセミナー		79 (10社)	165 (13社)	128 (6社)	256 (12社)
計		275	339	198	396

※9月時点の数値を倍にしたもの

実施方法	グループワーク形式(10~20人程度)
次第	①キャリアプランを立てるメリットについて ②定年と平均寿命の差について(定年60歳、平均寿命81歳(男性)) ③キャリア形成意識シートの記入(自分の強みに気づいてもらうためのシート) ④キャリアプランシートの作成(定年以降の取組を考えるシート)
受講者への提案事例	・これまでの経験・知識をもとに、今の会社でのやりがいや自分にしかできない役割を明確化 ・新たな資格取得により自身のキャリアに幅や奥行きをつけ、今の会社で目指し活躍できるポジションや役割を明確化

② 個別相談(企業派遣)利用者アンケート(令和5年度)

質問項目	回答	
今回の「キャリアプラン相談」はご自身にとって有益でしたか？	有益だった	どちらでもない
	93.3%	6.7%
「キャリアプラン相談」を友人・知人にも紹介したいと思いますか？	はい	どちらでもない
	63.0%	37.1%

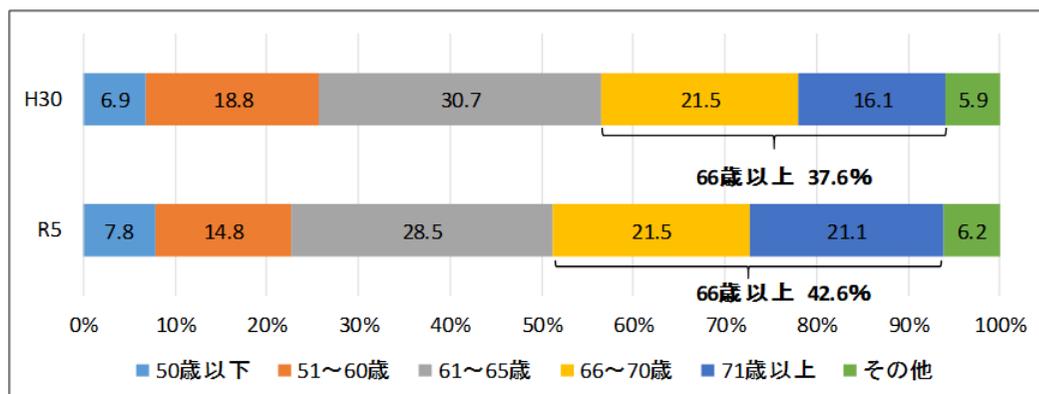
利用者の声(抜粋)

- ・過去の体験、事例の棚卸から自分自身の適正等が見えてきた
- ・5年後、10年後にやるべき事が明確になり、目標が出来た。
- ・自分の強み弱みが改めて分かり、今後の計画・目標の立て方が具体的になった。
- ・老後に必要な資格を調べて取得しておく。

3-1 キャリアに関する調査結果

① 何歳まで仕事をしたいか、またはしたか

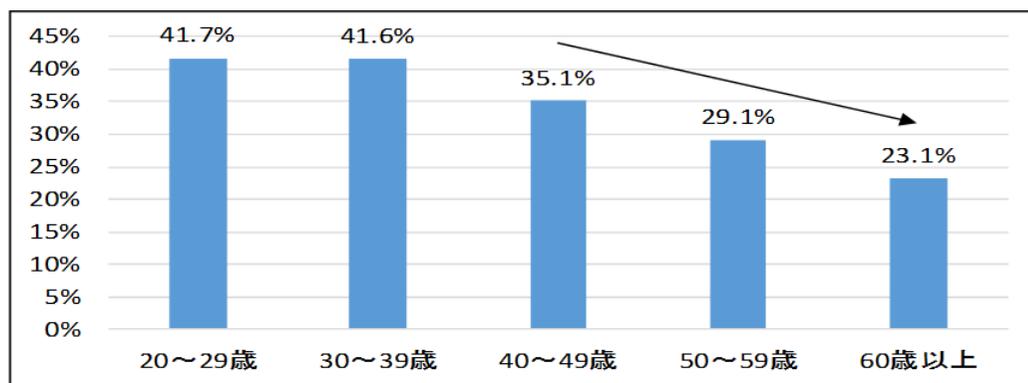
66歳以上まで働きたい人の割合は増加傾向



※内閣府「生活設計と年金に関する世論調査」

② 自己啓発を行った者の割合

30代までは4割を維持しているが、40代以降は減少傾向



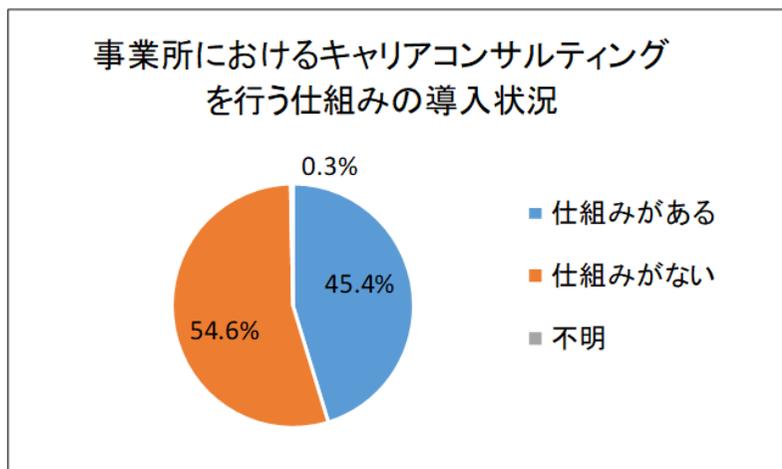
※厚生労働省「能力開発基本調査」(令和4年度)

3-2 キャリアに関する調査結果 ※参考

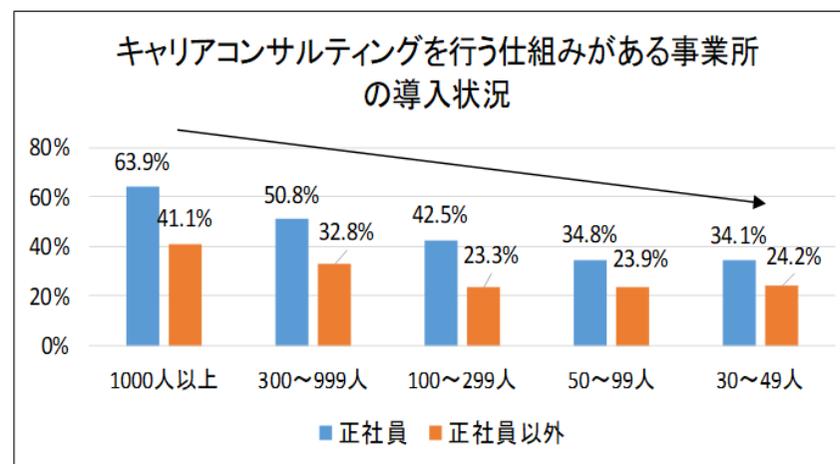
③ キャリアコンサルティングを行う仕組みの導入状況

仕組みがない事業所は全体の54.6%を占める一方、仕組みがある45.4%の事業所を従業員規模別で見ると、従業員規模が小さい事業所ほど、キャリアコンサルティングを行う仕組みの導入率は低い傾向

また、正社員以外にも仕組みを導入している事業所は、正社員に導入している事業所と比較し、6～7割程度にとどまっている状況



※厚生労働省「能力開発基本調査」(令和4年度)



※厚生労働省「能力開発基本調査」(令和4年度)

(参考) 福岡県生涯現役チャレンジセンターの概要

4つの機能

高齢者の活躍の場の拡大

(求人開拓、70歳以上まで働ける企業開拓)

就業・社会参加支援

(専門相談員による多様な選択肢の提案・マッチング支援)

意識改革

(企業向けセミナー、従業員向けセミナー)

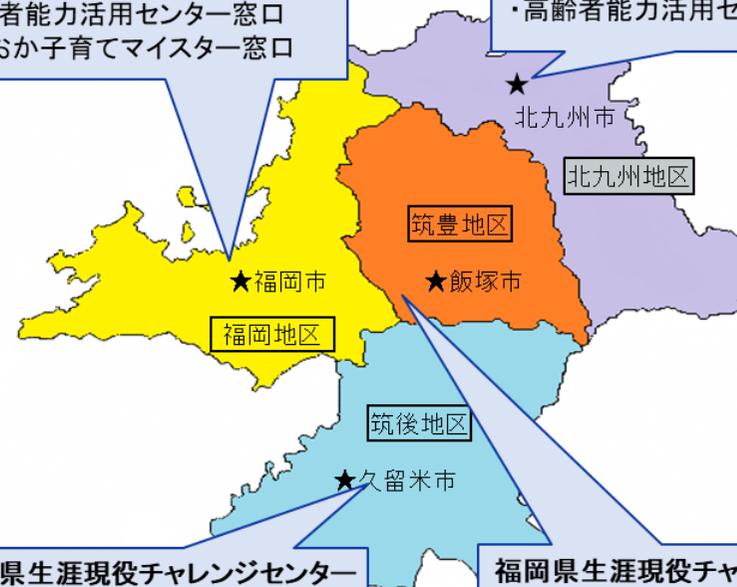
ふくおか子育てマイスターの拡大

(地域の子育て支援を担う人材として認定)

オフィス設置状況

福岡県生涯現役チャレンジセンター
福岡オフィス
【併設】
・シルバー人材センター窓口
・高齢者能力活用センター窓口
・ふくおか子育てマイスター窓口

福岡県生涯現役チャレンジセンター
北九州オフィス
【併設】
・シルバー人材センター窓口
・高齢者能力活用センター窓口



福岡県生涯現役チャレンジセンター
久留米オフィス
【併設】
・シルバー人材センター窓口
・高齢者能力活用センター窓口

福岡県生涯現役チャレンジセンター
飯塚オフィス
【併設】
・シルバー人材センター窓口
・高齢者能力活用センター窓口

(参考)福岡県生涯現役チャレンジセンターの実績

(単位:人)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
相談者数	5,028	9,601	14,059	16,597	18,143	18,936	19,983	20,457	19,057	20,128	21,165	24,196	207,350
来所相談者数	2,837	5,310	7,504	8,106	8,339	7,961	7,853	7,805	5,686	6,373	5,368	5,678	78,820
就業	2,718	5,227	7,450	8,043	8,277	7,833	7,736	7,651	5,652	6,337	5,280	5,544	77,748
社会参加	104	82	53	55	52	116	114	149	32	36	43	31	867
その他	15	1	1	8	10	12	3	5	2	0	45	103	205
電話相談	2,191	4,291	6,555	8,491	9,804	10,975	12,130	12,652	13,371	13,755	15,797	18,518	128,530
新規登録者数	1,380	1,834	2,542	2,574	2,597	2,820	2,554	2,252	1,631	1,913	1,608	1,849	25,554
進路決定者数	306	717	1,042	1,342	1,492	1,497	1,611	1,678	1,710	1,707	1,988	2,045	17,135
就職	293	680	1,023	1,318	1,472	1,477	1,588	1,631	1,661	1,655	1,925	1,948	16,671
社会参加	13	37	19	18	19	20	21	42	40	50	58	89	426
起業	0	0	0	6	1	0	2	5	9	2	5	8	38

